

# わたしたちのくらしと 地域経済を支えるインフラ

本県では「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めることで、ストック効果の高い社会資本を整備し、安心と希望を育む『みやざき新時代』の実現を目指します！  
この事例集は、このような本県の取組を紹介します。



令和3年8月21日 九州中央自動車道 高千穂日之影道路（日之影深角IC～平底交差点）開通！



令和4年1月  
宮崎県 県土整備部



# 目 次

## 【高速道路】

- P 1 大規模災害発生時に **支援路・代替路**として機能！
- P 2 高速道路の整備により **地域経済の活性化**！

## 【道路】

- P 3 高規格道路の整備により **民間投資を誘発**！
- P 4 **中山間地域の活性化** を促進する道路整備！
- P 5 橋梁の耐震性能強化で **大規模地震発生時における人流・物流の確保**！

## 【港湾】

- P 6 港の整備による **基幹産業の活性化**！
- P 7 陸路と海路の整備による **物流機能の拡大・強化**！
- P 8 港の整備による **県南地域の産業活性化** と **災害発生時における受入体制の確保**！

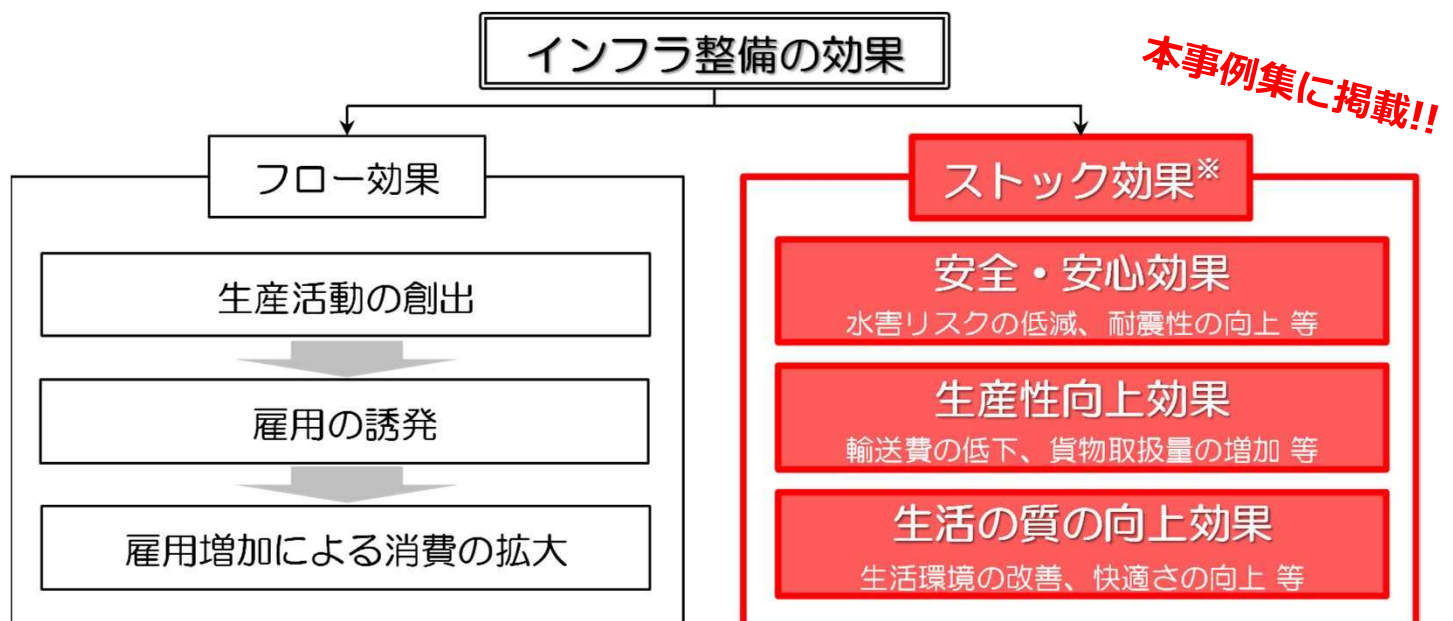
## 【河川・砂防】

- P 9 **河道掘削** により発生した土砂の **有効活用**！
- P10 **地域資源（再生された湿原）** を活かした **地域活性化**！ ～家田川・川坂川～
- P11 ハード・ソフト一体となった土砂災害対策により **地域防災力が向上**！

## 【都市整備】

- P12 （アフターコロナへの動き）公園整備で **スポーツランドみやざきを推進**！
- P13 高千穂通り周辺地区を **「居心地が良く歩きたくなる空間」** に！

## ストック効果とは？



※整備されたインフラが機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果





# 高速道路の整備により 地域経済が活性化！



九州中央自動車道 高千穂雲海橋道路中心杭打ち式 (令和4年1月15日)

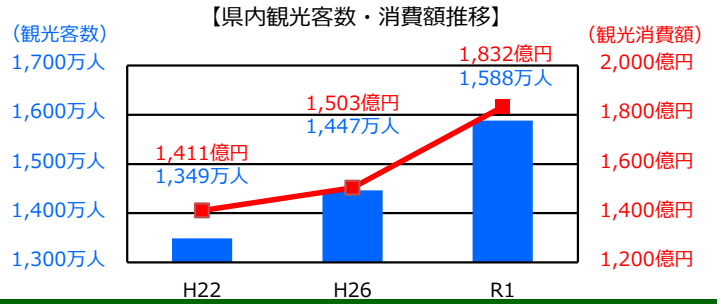
## 着実に進む高速道路の整備

県内供用率 (H22) 50% ⇒ (R3) 75%



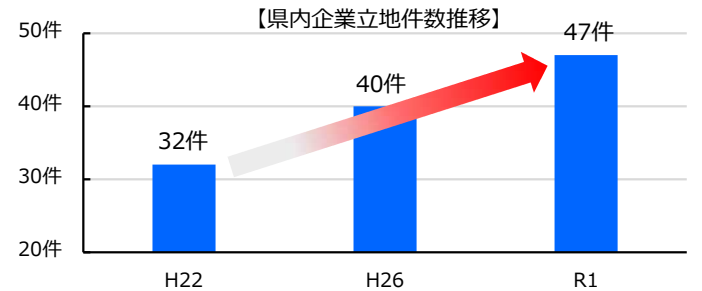
## 観光客の増加

観光消費額 (H22)1,400億円 ⇒ (R1)1,800億円  
 観光客数 (H22)1,300万人 ⇒ (R1)1,600万人



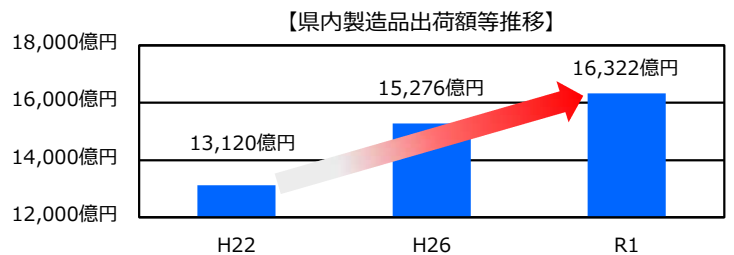
## 進む企業立地

近年は企業立地件数年間約40件以上を継続  
 (H22) 32件 ⇒ (R1) 47件



## 企業活動の活性化

製造品出荷額 約1.24倍  
 (H22)13,120億円 ⇒ (R1)16,322億円



道路ネットワーク整備

人流・物流  
 増加

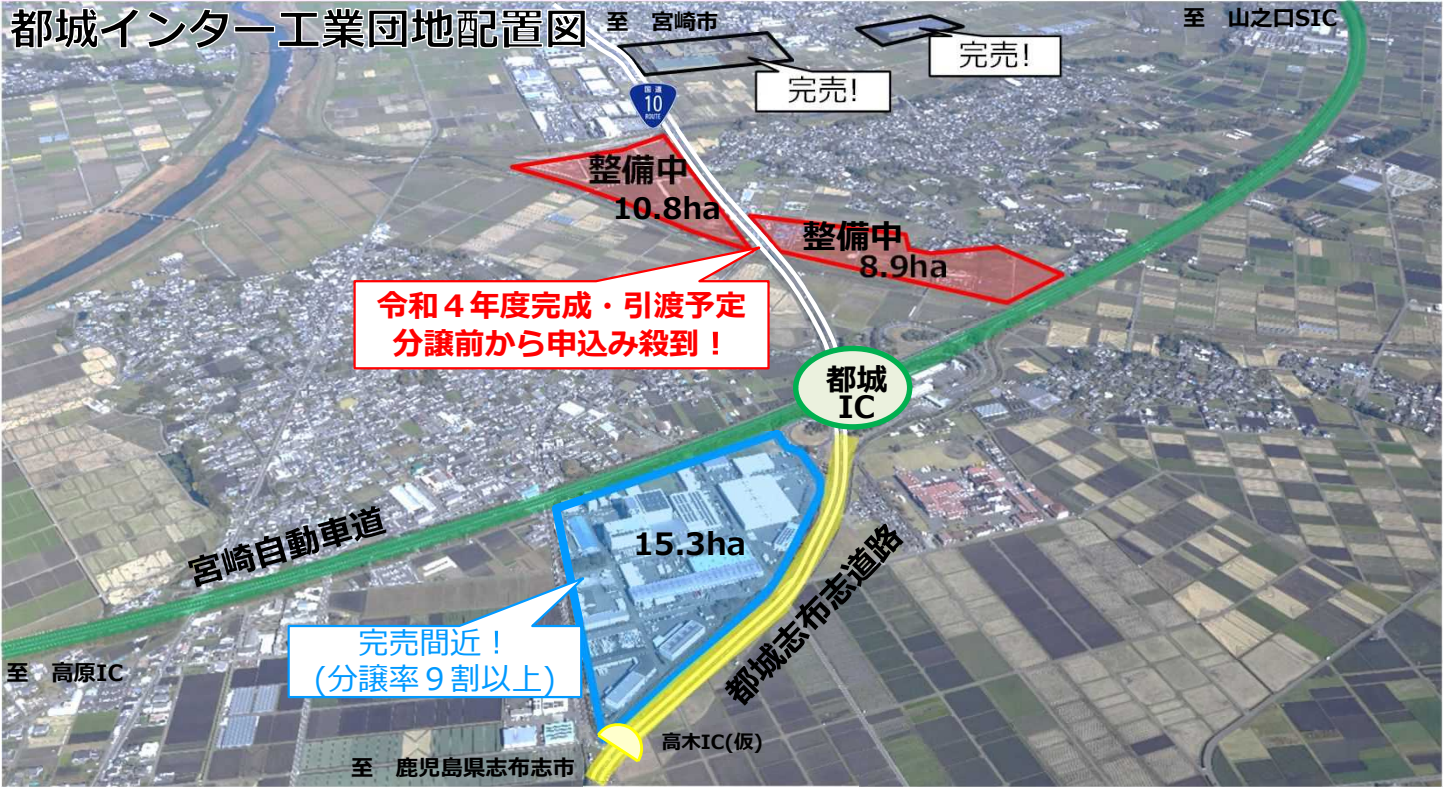
地域経済  
 活性化!!



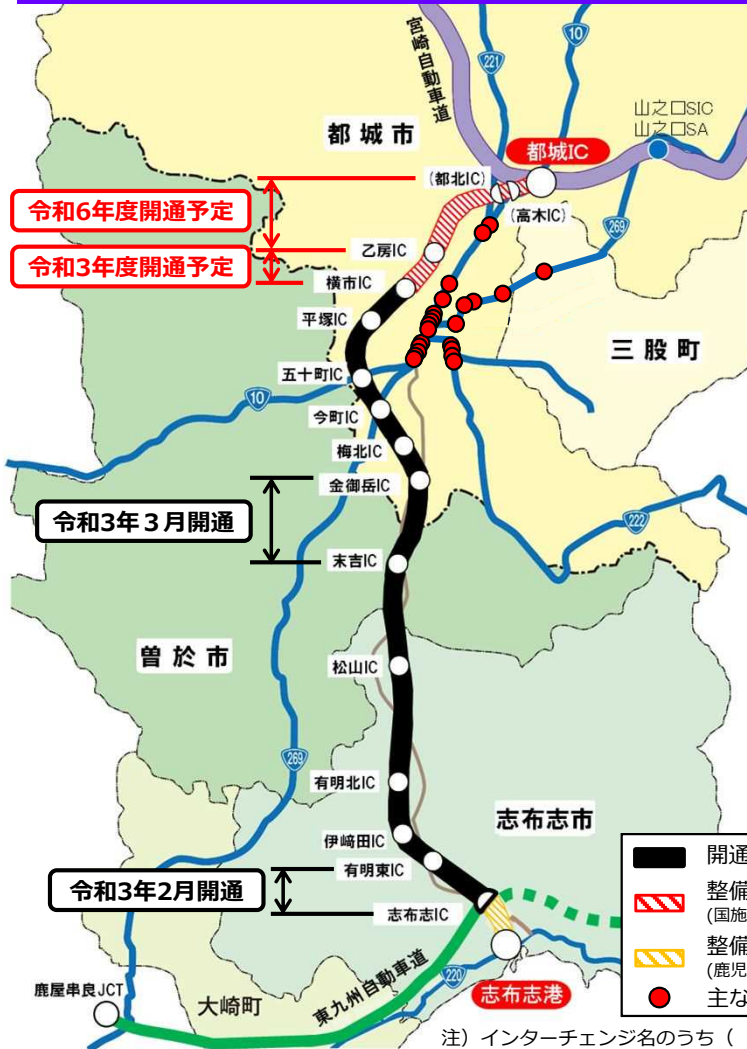
## 企業誘致が進む都城 IC 周辺

## 都城志布志道路

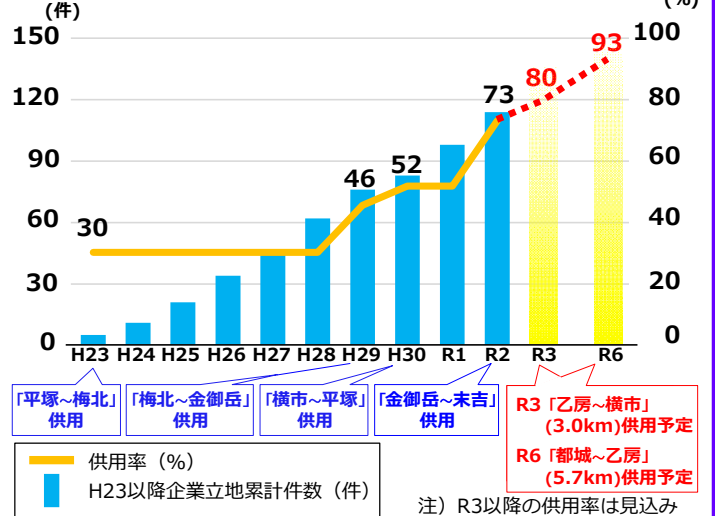
### 都城インター工業団地配置図



## 令和6年度 県内区間全線開通へ！ 宮崎道・都城志布志道路・東九州道が直結！



### 企業立地件数/供用率 (全体延長約44km)



◎ 整備中の工業団地ではすでに**多くの申込み!**  
今後、**更なる企業進出に期待!**

◎ 県内区間の全線開通により更なる**輸送効率化**  
**都城市街地の交通混雑緩和に期待!**



輸送が効率化! (金御岳IC~末吉IC)



# 中山間地域の活性化を促進する道路整備！



## 安全で安心な交通を確保！【国道327号】

### 尾平トンネル開通前

離合が困難



交通が途絶



### 尾平トンネル開通後



## 日本三大秘境の椎葉村でワーケーションが可能！

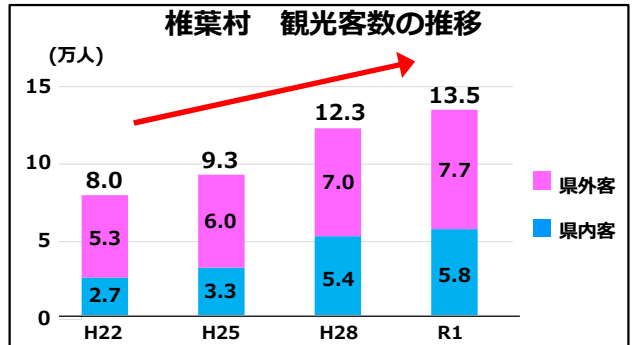
### 椎葉村の新たな交流拠点「Katerie(カテリエ)」



楽しくつろげる空間の図書館



ワーキングスペース  
(進出企業様カスターの拠点(予定))



- ◎日本三大秘境「椎葉村」豊かな自然を求めて**県内外からの観光客が増加！**
- ◎ワーケーションを求めて今後、**更なる観光客の増加に期待！**

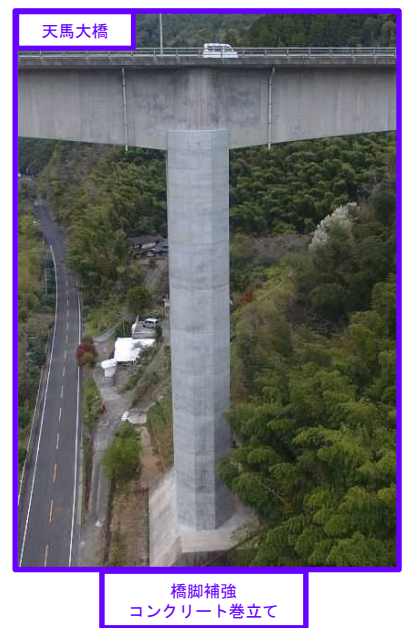
「仕事も遊びもKaterieで」をキャッチコピーに  
ワーキングスペースや図書館などが  
一体となった施設が誕生！



# 橋梁の耐震性能強化で 大規模地震発生時における人流・物流の確保！



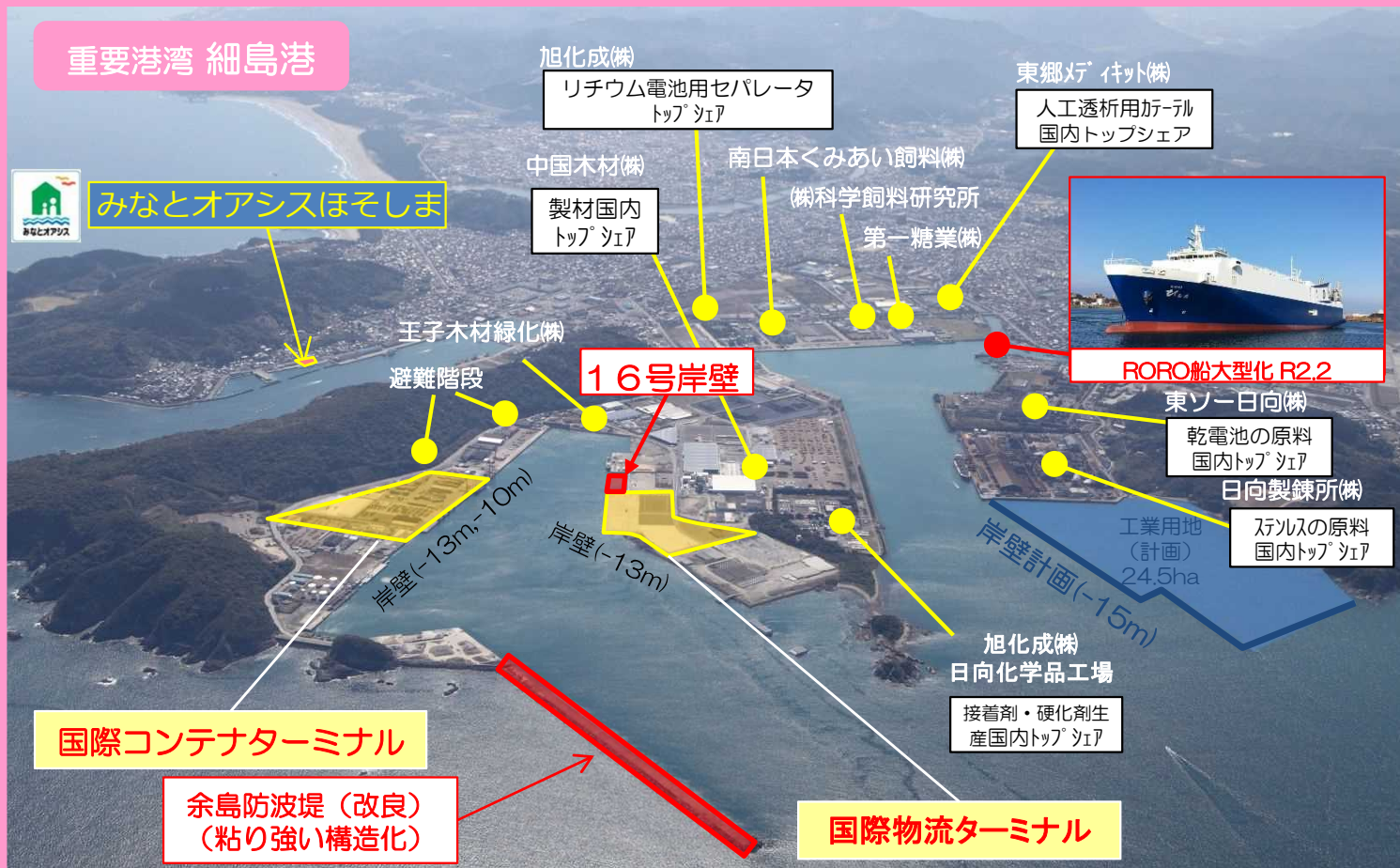
## 九州東進作戦の要となる国道218号(優先啓開ルート)の橋梁の耐震補強を推進



南海トラフ大地震発生時においても通行可能な状態を維持することで、人流・物流を確保し、熊本、福岡方面からの支援を受けることが可能となる。



# 港の整備による 基幹産業の活性化！



## 木材消費量の拡大

## 16号岸壁 整備中！

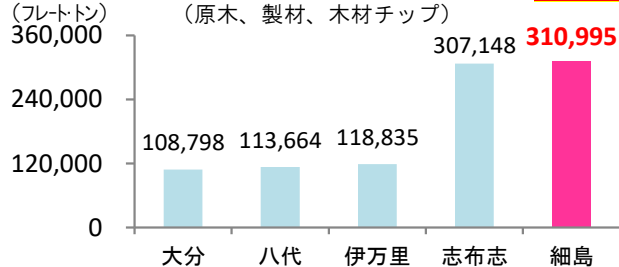
製材消費量増加と原木輸出量増加で 林業再生に期待



細島港の丸太輸出量(年)



令和元年 細島港の林産品輸移出量 **九州1位**



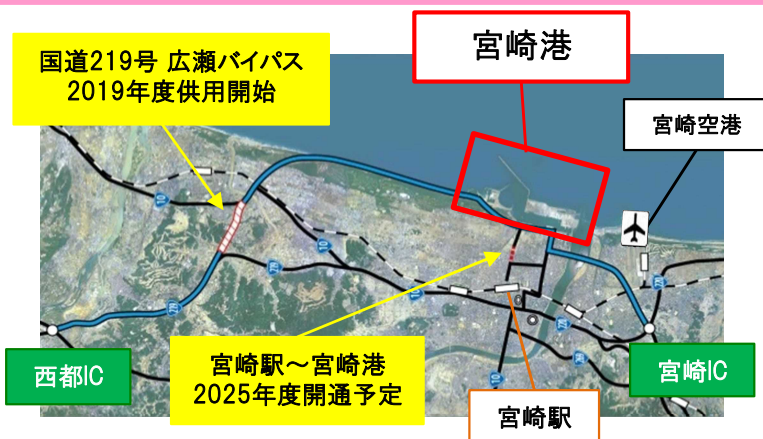
原木を取扱う岸壁が整備され、**林産品輸移出量のさらなる増加が期待！**





重要港湾 宮崎港

フェリーの更なる利用拡大に向けて



➡ サイドスロープ(車輛乗船用可動橋)設置により、荷役時間短縮(2時間50分から1時間40分に)



新船「フェリーたかちほ」(1隻目)R3.10.20進水式



**陸路と海路の整備により**  
 貨物やフェリー乗降客数の増加が期待される  
 また、2022年4月に就航する  
**フェリーの大型化**との相乗効果も見込まれる  
新船「フェリーたかちほ」2022年4月15日 就航予定  
新船「フェリーろっこう」2022年 秋就航予定

- ◎トラック積載台数の増加で、ドライバーの負担軽減
- ◎都市圏に向け、安価で大量輸送が可能
- ◎個室増加(29室から220室に)で、多様な旅客ニーズに対応



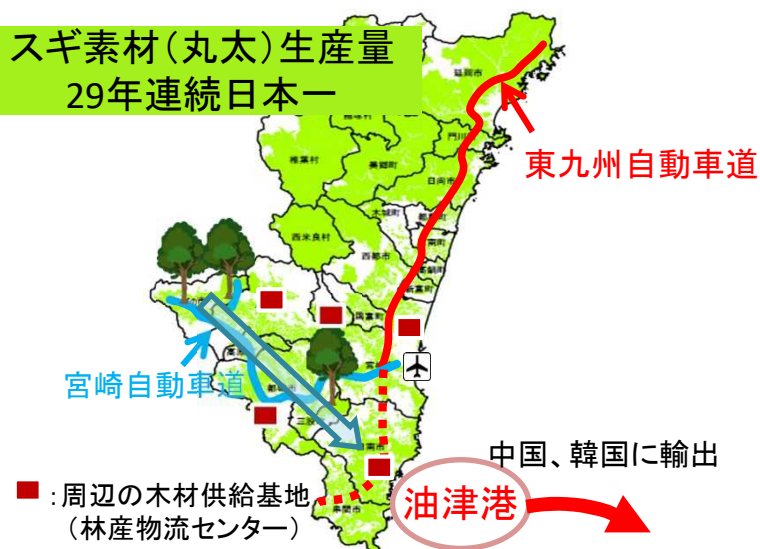


# 港の整備による 県南地域の産業活性化と 災害発生時における受入体制の確保！

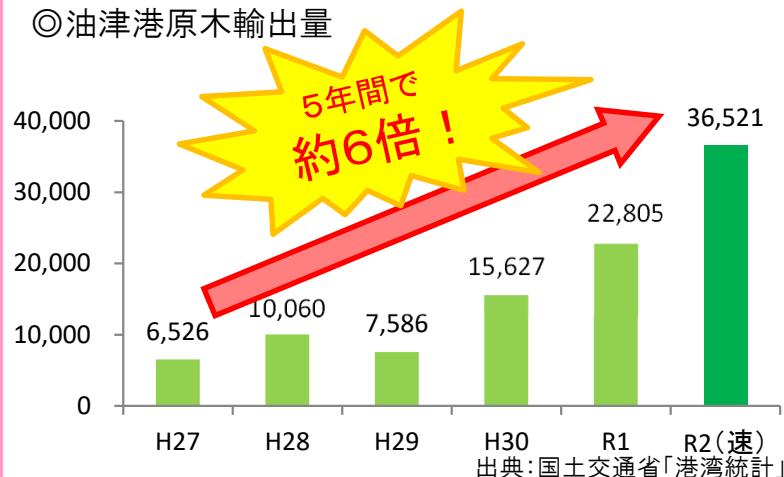


## 原木の輸出増加

スギ素材(丸太)生産量  
29年連続日本一



◎油津港原木輸出量



## 災害発生時の受入体制

◎耐震強化岸壁の整備(国土強靱化)  
令和3年度完成予定



M8.9の大震災発生時、  
背後圏(日南市、串間市) **約7万人**へ  
**緊急物資の輸送が可能に！**

本整備の完了により、  
県内の重要港湾(細島、宮崎、油津)に  
耐震強化岸壁が配置され、  
災害発生時に  
**県内全域にスピーディかつ効率的に**  
緊急物資が行き届くことになる



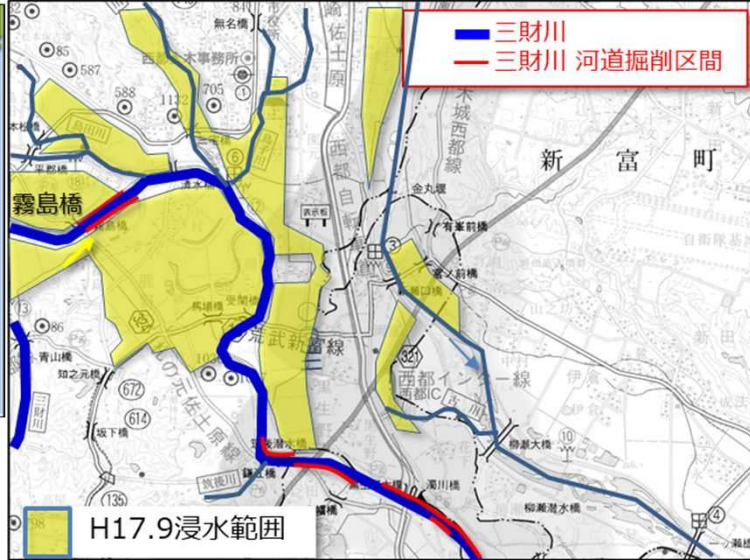
# 河道掘削により発生した土砂の有効活用



## 一ツ瀬川水系三財川

三財川流域では、これまで多くの浸水被害が発生し、特に平成17年台風14号では約480棟の家屋浸水被害が発生。

これを受け、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等により、河川改修や河道掘削を実施。



三財川では、3ヶ年で約49万m<sup>3</sup>の掘削土砂が発生。  
河道掘削工事の増加に伴い残土処理場が不足していた。

## 【整備効果】発生土砂の有効活用をととしたまちづくりへの貢献

三財川の下流に位置する新富町では、宮崎県で初めてJリーグに参入した「テゲバジャーロ宮崎」のホームスタジアムの建設が行われており、盛土材が不足していた。

新富町の要請を受け、河道掘削の発生土砂の一部をスタジアム建設現場へ提供。



新富町は、完成したスタジアムをとおして、サッカーを中心としたまちづくりを目指している。

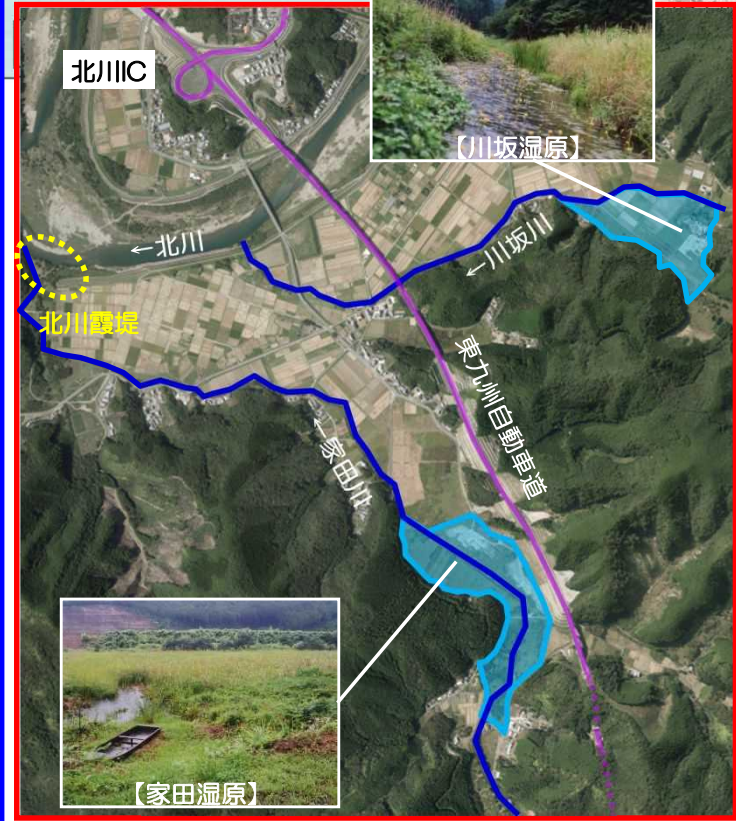
- テゲバジャーロ宮崎 (J3)
- 令和3年の戦績 (R3.12)
- ・**3位** (15チーム中)
- ・**フェアプレー賞** 受賞





# 地域資源（再生された湿原）

を活かした地域活性化！ ～家田川・川坂川～



北川浸水状況図（H9.9）

【水防災事業（宅地高上げ）】

北川では平成9年台風により甚大な浸水被害が発生。水防災事業（R3完）等で家屋等の浸水被害軽減!! 水害対策に合わせて、平成15年度から支川の家田・川坂湿原（日本の重要湿地500）を保全するため、自然再生事業（H30完）に取り組む!!

湿地の喪失  
外来種群落が増大

湿地の再生

【掘削前（家田川）】

【掘削後（R1.8）】

～冠水頻度を増やすために掘削による盤下げを実施～



【通路設置（川坂川）】



【案内看板設置（家田川）】

～環境観察、環境学習のための通路・看板の設置～

## 【整備効果】 湿原保全活動や観察会・学習会等開催により来訪者増加



地域行事

湿原保全のため、平成22年に家田の自然を守る会、川坂川を守る会が発足

地元中学生との協同作業

【藻刈り（維持管理）】



企業企画イベント

ボランティア約200名集まる

【除草・外来植物の除去】

■家田・川坂湿原の貴重種が増加

【家田湿原】

- ・植物 19種(H22)→25種(H29) (+6)
- ・鳥類 5種(H16)→6種(H28) (+1)
- ・昆虫類 19種(H16)→24種(H27) (+5)

【川坂湿原】

- ・植物 10種(H19)→12種(H29) (+2)
- ・鳥類 2種(H16)→4種(H29) (+2)
- ・昆虫類 8種(H16)→19種(H27) (+11)



オグラコウホネ



グンバイトンボ



観察会

一般・児童向けの観察会を毎年実施

【希少植物等の観察会】



学習会

北川水害対策や湿原を学ぶ

【野外学習（地元小学児童）】

湿原周辺への来訪者増加！！

2,548人 (H26)

+181

2,729人 (H30)

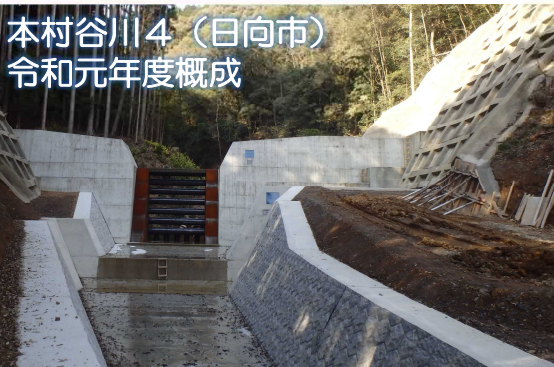
(延岡市調査)



## 土砂災害から命を守るインフラの強化



本村谷川4（日向市）  
令和元年度概成



坪谷小学校体育館

砂防堰堤  
溪流保全工

国道446号

保全家5戸  
避難所（坪谷小学校体育館）、避難路（R446）



← 保全対象施設での啓発活動（土砂災害防止教室：坪谷小学校 R3.7開催）  
小学3年生の感想「危険な状況になったときは、早めに避難して命を守りたい」  
※日向市広報誌「広報ひゅうが」R3.8号より抜粋

施設整備をきっかけに、地域住民の防災意識が高まり、  
ハード・ソフト両面からの**地域防災力が着実に向上**

## 砂防堰堤が機能を発揮し、土石流による被害を軽減



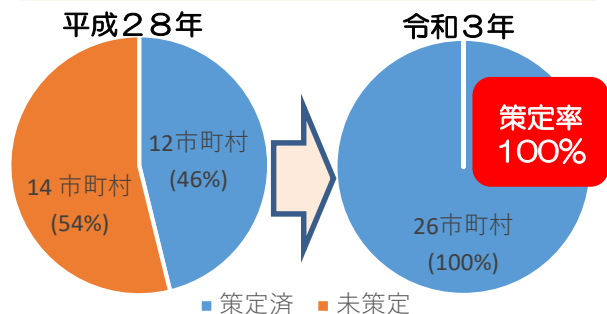
令和3年9月台風14号により、宮崎市畑田谷川で土石流が発生。  
堰堤左袖部で土砂の一部を捕捉し、土砂災害の被害を軽減。

## 地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

市町村による  
土砂災害ハザードマップ策定状況

市町村による  
危険箇所等周知看板設置

土砂災害を想定した避難訓練  
に地域住民が多数参加



美郷町速日地区（R2年度設置）



高鍋町家床地区（R3.6）

施設の整備と実効性のある警戒避難体制の確保により

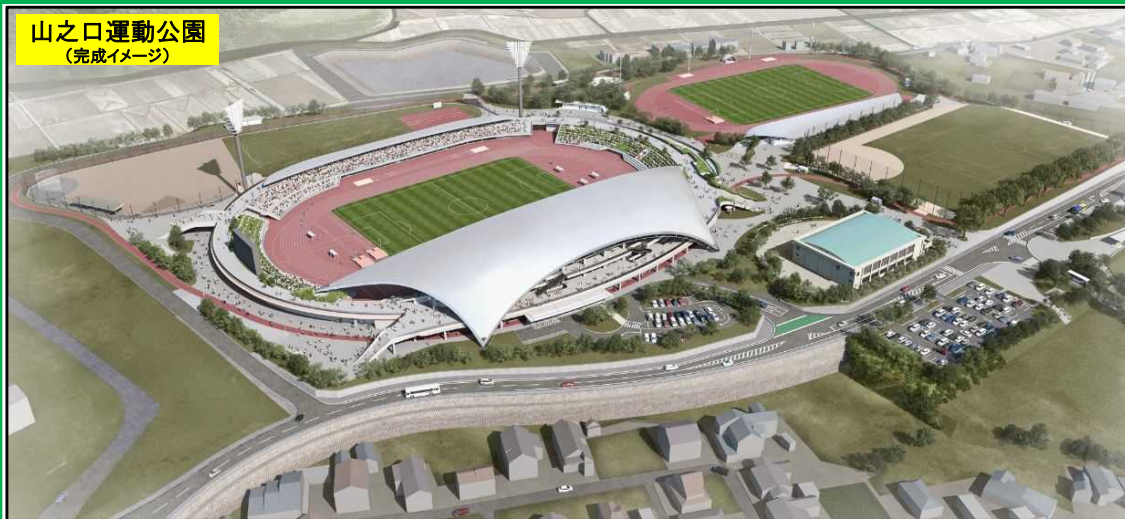
# 「いのち」と「暮らし」を守る土砂災害対策の推進





ポストコロナを見据え、都市公園の更なる魅力向上を図る事業に着手!!  
令和9年度の国民スポーツ大会開催に向け、都市公園事業を計画的に展開!!

## ① 令和9年度 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向け、都市公園施設整備が本格化!



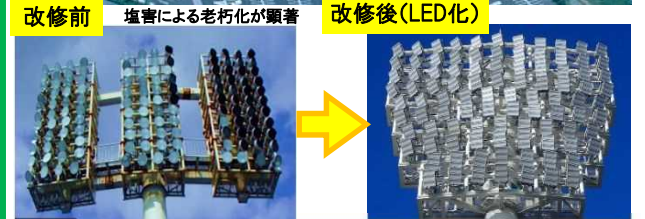
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	当年
中央競技団体 正規視察		●	●						
県総合運動公園 (宮崎市)			●	●	●	●	●	●	●
山之内運動公園 (都城市)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
都城運動公園 (都城市)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
西階公園 (延岡市)			●	●	●	●	●	●	●
その他公園 (県、市町)				●	●	●	●	●	●
老朽化対策 (長寿命化事業)	●	●	●	●	●	●	●	●	●

スポーツランドみやざきの全県展開



## ② 既存運動施設の改修も計画的に展開!

5か年加速化対策にて早期の効果発現!!



リニューアルした照明設備を活用し、プロ野球公式戦を有観客開催 (R3.8 ソフトバンクホークス鷹の祭典 (地方球場での鷹の祭典開催は、本県が初!))



# 高千穂通り周辺地区を 「居心地が良く歩きたくなる空間」に！

## 道路に関する新たな取り組みの**社会実験 実施中！**

### 社会実験の概要

- ・実施主体：宮崎県・宮崎市（宮崎河川国道事務所支援）
- ・実施期間：2カ年（R3年度～R4年度）
- ・実施内容：利用者の多様なニーズに応じて、高千穂通りの通行帯を柔軟に変更し、利便性を向上することや時間貸しの道路占用で街の賑わい創出に寄与する取組み



歩道空間活用の社会実験  
(高千穂通り R3.11.14)

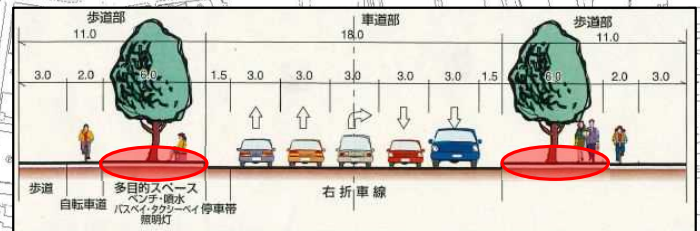


自転車  
走行レーン



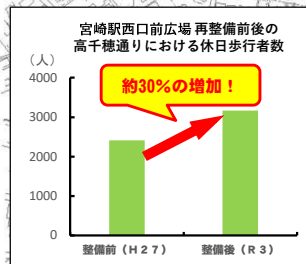
今後も**多目的スペースの活用方法**をハード・ソフトの両面で検討していきます！

高千穂通り横断面



宮崎駅西口駅前広場が令和2年10月に、  
アミュプラザみやざきが令和2年11月に  
グランドオープン！

歩道利用に応じた路肩の用途変更（高千穂通り R3.12.5）  
⇒イベントにあわせ、自転車走行レーンの設置実験



駅周辺と市街地を回遊する  
グリーンスローモビリティ  
「ぐるっぴー」の運行が開始



地元商店街によるイベントの開催  
(あみーろーど)



駅前広場では、様々なイベントが  
開催され、賑わいが生まれる！



高千穂通り周辺地区のまちづくりやほこみち等を活用した  
道路の有効利用により、宮崎の更なる活性化に期待大！





2021年11月11日

宮崎県  
シンボルキャラクター  
みやぎき犬  
発見10周年!!

宮崎県におけるインフラのストック効果事例集 (vol.8)

令和4年1月発行

宮崎県県土整備部